

2023年度JAHA継続教育プログラム

認定病院指定

認定医指定 (外科「腹部/軟部外科」・総合臨床医)

日本獣医師会獣医師生涯研修事業ポイント取得プログラム申請中

後援：(公社) 東京都獣医師会、(公社) 神奈川県獣医師会、  
 (公社) 千葉県獣医師会、(公社) 埼玉県獣医師会、(公社) 川崎市獣医師会、  
 (公社) 横浜市獣医師会、(公社) 大阪府獣医師会、(公社) 大阪市獣医師会、  
 (一社) 兵庫県獣医師会、(公社) 京都府獣医師会、(公社) 京都市獣医師会

大阪会場 1日目：11月10日(金) 13:00～19:00  
 2日目：11月11日(土) 10:00～17:00  
 3日目：11月12日(日) 10:00～17:00

東京会場 1日目：11月14日(火) 13:00～19:00  
 2日目：11月15日(水) 10:00～17:00  
 3日目：11月16日(木) 10:00～17:00

## 「世界基準の呼吸器外科 ～上気道を見つめ直す～」



**講師 Dr. Bryden Stanley**

BVMS, MVetSc, MANZCVS, MRCVS, Diplomate ACVS

Animal Surgical Center of Michigan  
 Emeritus Professor of Surgery  
 College of Veterinary Medicine  
 Michigan State University

### セミナーのご案内

今回のJAHA国際セミナーではDr. Bryden Stanleyを日本にお招きして対面で「呼吸器外科」の講義をしていただきます。Dr. Stanleyは世界的にも大変有名な軟部外科医で、中でも形成外科と呼吸器外科の分野で大活躍されています。2019年には当会で「形成外科学」の講義をしていただきましたが、その際には豊富な写真や動画を用いながら、わかりやすく手技を説明され、かつすぐに使える実践的な内容となり、大変評判の高いセミナーとなりました。また、私個人的にも今まで受講したセミナーの中で最も感銘を受けたセミナーとなりました。

本セミナーでは、犬と猫のQOLに多大な影響を与え、時に生死を左右する上気道の外科について講義していただきます。講義の内容は多彩であり、上気道の解剖と画像診断から始まり、近年世界中で人気となっている短頭種の上気道の問題(アップデート含む)、緊急的或いは時に救済として必要になる気管切開、様々なライフステージでの喉頭麻痺の診断と管理、喉頭蓋後傾の診断と管理、腹側喉頭切開の適応と手技、気管虚脱、そして最後に猫の上気道の問題についてもお話していただきます。全て興味深いトピックスとなることは間違いのないと思います。

上気道の外科を実施する獣医師はもちろんですが、外科をされない獣医師にとっても知っておくべき内容が多数あると思いますので是非このチャンスに多くの先生にご参加いただければ幸いです。

学術委員 小山田 和央 (松原動物病院)

### 大阪会場

日程：11月10日(金)ー12日(日)

場所：天満研修センター (大阪市北区錦町2-21)

JR環状線「天満」駅より徒歩2分

通訳：浅枝 瑛子 (もぐ動物病院)



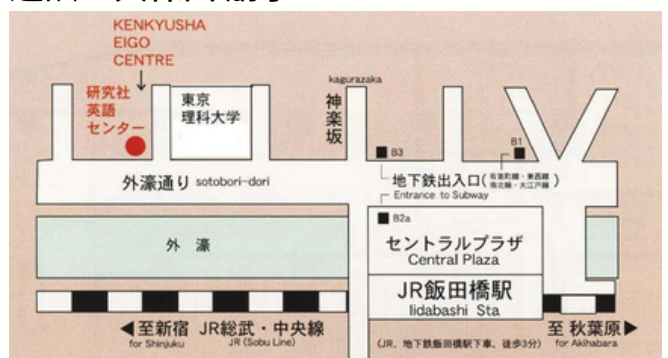
### 東京会場

日程：11月14日(火)ー16日(木)

場所：研究社英語センター (新宿区神楽坂1-2)

JR・地下鉄「飯田橋」駅より徒歩5分

通訳：久保田 朋子



## 1日目 (13:00~19:00)

## 上気道の解剖と検査

腕利きの上気道外科医になる為には、鼻腔、鼻咽頭、口腔咽頭、咽喉頭、喉頭、声門直下部の解剖、機能、構成要素を理解していることが大事です。本講演では、耳を含む上気道の詳細な検査方法と系統的な所見の記録方法について解説をします。また、上気道の特徴を十分に把握するための適切な画像診断についても解説します。

## 上気道手術の周術期準備

上気道の外科的介入における術直後と最終転帰は、手術手技だけではなく術前、術中、術後の最適なケアにも左右されます。本講演では、逆流を最小限に抑える為の薬剤選択を含む患者の準備、そして腫脹・逆流・誤嚥を最小限にする術中の手技について解説します。合併症を減少させるために、全ての症例においてどのような術後管理ができるかについても説明します。

## 短頭種の気道手術—最新情報

短頭種の人気は世界中で高まっており、それに伴う上気道の問題は管理するのが難しい場合があります。本講演では、上気道の正確な特性評価とグレード分類の後に適応される外科手技についてお話します。鼻孔、口蓋、扁桃、楔状突起、喉頭蓋軟骨、梨状陥凹、喉頭室に対する様々な手技についても説明します。

## 2日目 (10:00~17:00)

## 一時的気管切開術と永久気管切開術

上気道手術をする全ての外科チームは一時的気管切開術の実施と管理に備えていなければなりません。一時的気管切開術の適応、実施時期、位置、手技に加え、手術で使用する様々な一時的気管切開チューブについても説明します。また、本講義では、患者の選別方法と、合併症を最小限に抑えた永久気管切開の実施法についてもお話します。

## 先天性、若年性、老年性発症の喉頭麻痺

喉頭麻痺は犬では様々なライフステージで起こる可能性があります（猫はそれほど多くない）、全身性の神経障害が緩徐に伴う場合と伴わない場合があります。若年性発症では、深刻な神経機能障害を伴うこともあります。本講義では喉頭麻痺の様々な症状、適切な診断法そして外科的介入を含む最適な管理についてお話します。

## 喉頭蓋後傾症—診断と管理

喉頭蓋後傾症は最近になって疾患として認識されるようになったが、おそらく長年もの間疾患として気づかれず、上気道雑音や断続的な障害を引き起こしていました。後傾はやや主観的な場合もありますが、上気道検査では常に喉頭蓋を評価するべきです。本講義では臨床兆候、診断、診断に確証が持たないときにどうするか、そして疾患の外科治療について説明します。

## 3日目 (10:00~17:00)

## 腹側喉頭切開術—適応と手技

腹側喉頭切開術は侵襲性と一時的気管切開術の必要性から犬では推奨されることはほぼありません。しかし、特別に難しいことはなく、声門下管腔へのアクセスに極めて優れており、臨床的に著しい改善が期待できます。癒痕組織や、増殖性の腫瘍、余剰組織を切除する際に行います。本講義では腹側喉頭切開術の適応と処置、術後管理のプロトコールについてお話します。

## 気管虚脱

気管虚脱は小型犬種で極めてよく見られます。通常、この疾患には内科的管理の組合せが効果的であり、難治性の症例には様々な治療介入が行われます。本講義では、管内ステントの設置、管外リングの設置と症例選択について説明します。

## 猫における上気道の問題

猫の上気道疾患には、外科的介入が非常に効果的な場合があります。本講義では、短頭種の鼻孔狭窄を拡張するために必要な細心の外科手技、耳および咽頭ポリープの外科的、牽引そして内科的管理、喉頭麻痺および若年性ウイルス感染症に続発する鼻咽頭狭窄病変を永久的に開存させる方法についてお話します。

セミナー参加費 (税込) ※受講料と講義資料は別料金になりますのでご注意ください。



3日間受講	参加区分	JAHA会員	一般料金 会員当日料金
	獣医師	66,000円	72,600円
	獣医師奨学制度	33,000円	—
	学会会員	19,800円	—
	学生A	9,900円	13,200円
	学生B	19,800円	26,400円
講義資料	データ (PDFファイル) 6,600円 データ (PDFファイル) + 冊子セット 8,800円		
昼食	1,100円 / 1日 ※10時開始のセミナーのみ		

## 【データ (PDFファイル)】

講演スライドと講義ノート (日本語と英語) が含まれます。購入された方には、11月6日(月)に資料ダウンロード先をご案内いたします。

## 【キャンセル規定】

- ・セミナー開催前日までにご連絡いただいた場合、手数料1,000円を差し引いて返金します。
- ・講義資料のご案内後は、資料代のキャンセルはできません。
- ・直前のキャンセルでは、昼食代を返金できない場合があります。

## 【冊子】

印刷した講演スライド (講義ノートは含まれません) を当日会場でお渡しいたします。

## 【ご連絡】

- ・会場にてビデオやデジカメでの撮影はご遠慮願います。
- ・開場は講義開始の1時間前、受付は30分前からとなります。
- ・事前に昼食を注文されていない方、当日受付の方は各自で昼食をご用意ください。



詳細・申込